



# ふるさとだより

第11号

平成28年10月25日

西会津 富士の郷

HP: [www.nct.ne.jp/fujinosato/](http://www.nct.ne.jp/fujinosato/)

## 今年も好評 秋葉原での販売

秋葉原での販売も3年目、今年は8月5日(金)と6日(土)、会長夫妻と会沢つぎ子さんが参加し、初めて2日間販売しました。

「富士の郷」からは、山口隆司さんのキクラゲや坊ちゃんカボチャ・ジャガイモなど、そして仲間のミネラル野菜や農産加工品なども販売しました。

ブルーベリーは初日に売切れ、野沢の地酒や野沢納豆も喜ばれました。一緒に参加した柴崎の高久さんの焼きそばが、売上NO.1でした。

去年は、「父が萱本です」という娘さん、今年は、「柴崎生まれの山口です」と、声をかけられました。嬉しいことです。

この販売は、富士ソフト(株)のお勧めとご協力で実現しています。富士ソフトからは、年3回富士の郷にボランティアにお出でいただいております。

また、10月には「富士ソフト企画会津営業所」が設立され、菌床シイタケの栽培が始まりました。これからも、富士ソフトとの結びつきを深めていきたいと思っております。



### ◆祭礼の今と昔◆

8月27日は小清水集落の祭礼です。当日神主さんに来ていただいて、祝詞をあげてもらっています。そのあと、集会所にて参加者全員で直会(なおらい)。そんなことで終わる現在の祭礼。

思い出してみると、以前の祭礼は、近隣の集落の親戚の方をお招きし、座敷はお膳が並んでいました。また、お宮の前には豊年踊りのやぐらが準備され、やぐらの上の笛と太鼓とあっちこっちから集まった若い人たちの踊りで賑やかな祭礼でした。出店も出ていました。

時代が変わっても、当時のエネルギーを受け継ぎながら生きているような気がします。

## 第52回新郷地区体育祭

昭和39年、東京オリンピックの年に「新郷オリンピック大会」として始まった地区の体育祭も、半世紀を超えました。

今年も、前日までの雨でグラウンド状態が悪く、体育館での開催でした。

8月28日(日)、5チームが参加して、玉入れ、縄ないリレー、綱引きなどを行いました。綱引きでは2位となりましたが、常連だった優勝はなかなか難しくなってきました…。

富士Bチームの結果は昨年と同じ4位でしたが、みんな頑張りました。競技数も減ったため午前中も早いうちに終了し、午後は、いつもどおり焼肉で反省会を行い、親睦を深めた一日でした。

## 白い花を咲かせたソバ畑

水田は実に41.9%もの転作があり、その分ソバの栽培が増えている。畑を荒らさないために、ソバを作っている人もいる。

今年は順調に育っていたが、9月中旬から雨が降り続き、転作のソバに被害が出始めている。

これからは、熊や狸の被害も予想され、豊作とはいかないようである。ソバの価格は北海道の影響を受け、年によって差がはなはだしい。



### ◆毎日どこかでいたずら 獣天国◆

かつては身近にいる獣といえば、熊や狸であった。狐もいた。10年前頃から猿が集団で現れ、今では新郷地区全般に出没し大きな被害を受けている。

カモシカも見かけられ、皮剥ぎによって枯れる杉も出てきた。

一昨年からは、猪が稲などを踏み倒すようになり、田に穴を掘ったりし、被害を受けている。

厄介なのはハクビシンで、電気柵などなんのその、柵を乗り越えて侵入する始末。さらには家の中に入って果物を食べるなど、まさに獣天国である。



## 昭和村の芋麻倶楽部さんが来訪

10月5日(水)、昭和村のNPO法人芋麻倶楽部(ちょまくらぶ)の方2名が来訪されました。会津地方振興局の渡邊さんと昭和村役場の五十嵐係長さんもお一緒。



まず、こちらから西会津富士の郷の活動についてパワーポイントを使って説明させていただきました。

そして、意見交換。こちらの地域、昭和村どちらも高齢化のもとでの活動。困難な状況のなかでの活動を励ましあった意見交換でした。

## 今年は、稲刈り作業大変苦勞しました！

今年の田植え後の天候については、気温・日照・降雨共々、ほぼ順調に恵まれて来ました。しかし9月下旬より10月上旬の大事な収穫時期に、台風の影響もあり長雨に見舞われ、田んぼはやわらかくぬかるむ状態に、また、少ない晴れ間の中の稲刈り作業となり、近年にない収穫作業を経験しました。

今年の作柄は「良」の予想でしたが、当地区も平年作の収穫量を得る事ができました。米の価格については、JA 仮渡金（コシヒカリ 1 等 60kg）11,600 円と昨年より 800 円ほど値上がりしました。しかし、食糧難で米が貴重だった時代は、話によると「1 日の職人手間・米 3 升（4.5 kg）」といわれ、当時は貴重で値段の高かった事がうかがえます。

現在主食であるがゆえに、米を手ごろに買い求められる今日、年々消費量が減っているとは………！



## 西会津の縄文土器展



上小島 C 遺跡： 深鉢型土器（縄文中期）

6/25(土)～9/4(土)までの2か月半、西会津町で出土した縄文土器約40点を西会津国際芸術村（旧新郷中学校）で初公開・展示しました。来館者数は約1,370名で、芸術村でこれまでに開催した企画展で最高の来館者数となりました（町内400名、県内480名、県外490名）。3千～4千年も前に西会津に住んでいた縄文人が創った土器を目の前に見ると、その芸術的センスの良さ、大胆さに驚くばかりです。

芸術村には、現在もまだ数点展示してあります。



上小島 C 遺跡： 壺型土器（縄文後期）



芝草・小屋田遺跡： 深鉢大木土器<左> ・火焰土器<中>（縄文中期）



同遺跡：三十稻場式 壺と蓋（縄文後期）

## 第11回芸術村公募展

9月24日(土)から10月15日(土)までの約3週間、芸術村で第11回西会津国際芸術村公募展が開かれました。作品の応募点数は青少年の部(19歳以下)149点、一般の部56点、合計205点で過去最高となりました。期間中の来場者は、町内218名、県内409名、県外129名合計756名でした。西会津小学校4年生や西会津中学校文化部の版画作品、町内作家の作品として八重窪出身の物永豊久氏の仏像なども展示されました。10月8日と9日は芸術村に関わっているクリエイターたちによるものづくり披露や体験『縁・展』も初めて行われ、賑わいました。

また、10月9日の伝統芸能コンサートでは、こども語りべや新郷ももの会の大正琴、ジャズバンドの演奏があり、ご覧の皆さんは熱心に聞き入っていました。



### ◆芸術村 改修工事中◆

東日本大震災でひびが入り傾いた体育館と旧新郷中学校との渡り廊下や、裏の建物を解体しています。

校舎前の通路が舗装され、校舎の裏側も整地される予定です。



### ありがとうございました

長谷沼学さん(小清水出身・福島在住)よりふるさと応援金をお寄せいただきました。事業活動に役立たせていただきます。

### 小清水・漆窪集落の予定

- 11/2 水仙ロード  
命名除幕式
- 11/3 水仙球根植え
- 11/月上旬 中野堰修繕
- 11/20 漆窪花壇整備・  
収穫祭
- 11/下旬 小清水収穫祭

### 西会津国際芸術村のイベント

- 11/2～12/4 江口敬・渡邊里絵香展
  - 11/2 谷川賢作ピアノコンサート(尾野本講堂)
  - 11/3 谷川賢作ピアノコンサート(芸術村)
  - 11/5 鍛金ワークショップ
  - 11/5～11/12 公募展東京巡回展  
(東京世田谷 ギャラリースペースS)
- ホームページ [nishiaizu-artvillage.com/](http://nishiaizu-artvillage.com/)

### 編集後記

長雨で稲刈りが大変だったようですが、昨年より美味しいお米が出来たとも聞きました。今年はコロコロと太ったまん丸い山栗がたくさん採れ、初めて「渋皮煮」を作ってみました。重曹や木灰の量を変えて渋抜きし、4回ほど試作しました。渋の抜け方は様々でしたが、ビギナーズブラックで最初にしたのが一番おいしかったです。歳を重ねても何か新しいことに挑戦するのは脳の活性化にも良く、楽しいものですね。皆様方より「ふるさとだより」へのご意見をお寄せください。お待ちしております。(星)